報告日：2018.10.23

**学 院 長**

報告者：植田　吉祥

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（受講者）

**教員研修 受講報告書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **受 講 テ ー マ** | **日　時** | **場　所** |
| 最新技術動向＠2018 | **期日 2018.08.23**  **時間 17:00 ～18:00** | CKGビジネスカレッジ  大橋校  メディアルーム3F |
| **受講内容と受講所感等**  　最新技術動向として、IT技術者の需要は減らないとの説明から始まった。ただし、ITエンジニアのニーズが偏ってくるために、今後は生き残りの競争が始まるということを意味しているとのことであった。特に下流工程は自動化のために縮小傾向であるが、上流工程についての知識と経験が必要になるようであった。  　現在のプログラミングをしないコンサルよりも、プログラミングをできるコンサルのように、多との差別化ができることが今後より重要になるみたいである。  　この展開の中でコンピュータ言語で、どのようなものが望まれているかの説明があったが、プログラミング言語は提案から設計の実現手段なので、どれかを一つ深く習熟していて、他の言語を触ったことがあり、習得できる素養がある人間でありたいし、そういう学生を育てたいと思った。  　また、現在のITの学習領域で就職するためには、やはり、Javaの学習は必須なのかなと考える。特に福岡では、Javaも強く、この辺りは留学生の就職を考えるうえで、コースのカリキュラム設定で考えていかなくてはならない問題とであると認識した。  　プログラミングの歴史は、まさに情報処理の基礎問題。言語の年表は頭に入っていないが、それなりの順序で思い起こすことができた。プログラミング言語の系統図にLISPが入っているのは面白いと思った。特に、そのLISP的な思考は、オープンソースのプログラミングの中でたびたび「LISPが」とフレーズを目にする。時間があれば学習してみたいテーマの一つではある。  　最後に今後のプログラミング言語で言えば、Pythonであるが、書学者の敷居を下げた設計になっている割には、意外と初学者がインデントでつまずく。なかなか理想通りにはいかず難しいなと思った。 | | |
| **今後の希望・提案等**  　技術系のテーマで、職員全員が役に立つテーマについての講義を聞いてみたい。 | | |

※受講後、５日以内を目処に研修実施記録と併せ、本報告書を学院長宛に提出のこと